

高倉

この高倉は昭和51年12月に沖永良部島から移築したもので、本館正面の城跡入口に展示してある。

規模は6本柱で、建坪は約18㎡、地面から床までの高さは約2m、棟までの高さは約6m、屋根は寄棟造りで、沖永良部島ではすすき葺きであったが現在は竹茅で葺いてあり、屋根の形も沖縄本島の形に変えてある。

昨年まで2棟あった高倉の1棟が平成19年7月の台風4号で傾き、そのままでは倒壊する危険がある為、平成19年8月に一部解体、平成19年12月までに図面取りを行い、解体した。支柱等の主な材料は防虫防蟻処理を施し、収蔵庫に保管している。



サーターグルマ

屋外展示しているサーターグルマはキビ圧搾機として戦前まで使用されていたものである。サーターグルマには木製、石製、鉄製があるが、現在展示してあるものは石製と鉄製で、破損がある箇所・部品がたりない部分は木材やセメントで補修して昔ながらの形に復元したものである。



文献資料室

文献資料室には沖縄関係、歴史民俗の専門図書あわせて24,933冊と1968年5月から沖縄タイムス、琉球新報を月ごとに製本した973冊を収めてある。(平成22年3月現在)

それらの図書は分類ごとに配架され、閲覧することができる。

よみたん そんりつれき し みるぞく しりょうかん 読谷村立歴史民俗資料館

展示案内



利用案内

案内図

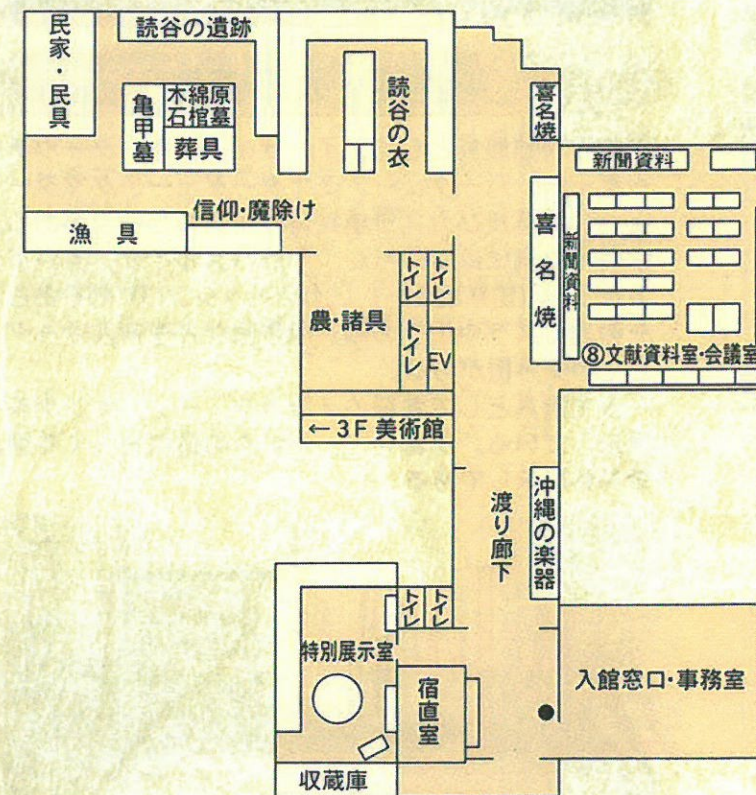


〒904-0301 沖縄県読谷村字座喜味708-6
電話 098-958-3141
FAX 098-982-9022

利用案内

- 開館時間
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日
●毎週月曜日、公休日、慰霊の日(6月23日)、12月29日~1月3日
●公休日・慰霊の日に月曜日が重なったときは、翌火曜日も休館
●展示替えおよび燻蒸などの臨時休館日
- 観覧料
大人 200円 (40名以上 160円)
小中高生 50円 (40名以上 40円)
※ドライバー、引率者は人数に含まれません。
※美術館は展示会開催時のみ見学できます。

記念にスタンプをどうぞ



資料館の誕生は昭和46年復帰記念事業の一環として国庫補助金で座喜味城跡周辺を公園用地として購入し、同年6月公園計画の中に「民芸館」の構想ができ、同年11月には歴史民俗資料館の具体的な計画案が打ち出されたことに始まる。

資料館建設工事は、昭和49年3月に着工し、同年8月に竣工した。県内では初の資料館として、昭和50年5月18日に開館して以来、毎年収蔵している資料も膨大な数になった。

そのため展示や収蔵の面で支障をきたし、資料館の増館をという声があがった。

その念願がかなえられ昭和63年度事業として歴史民俗資料館新館建設工事が行なわれ、本館の裏側に隣接して、鉄筋コンクリート三階建(床面積1959.795㎡)が平成元年3月30日に完成した。

展示室の概要

本館特別展示室	77.760㎡
新館展示室	311.691㎡
文献資料室	136.530㎡
ロビー	79.129㎡